

中公通信



アオッサ第188号

<発行所>福井市中央公民館

福井市手寄1-4-1 アオッサ5階

TEL 20-5459 FAX 20-1538

<発行日>令和7年12月20日

師走になり、雪の混じる寒い季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。巷ではインフルエンザが猛威を振るっているようで、お互い気を付けたいところです。

さて、12月末までには、ほぼ教育事業講座は閉講式を迎え完了しています。館内においても各講座の振り返りの全体研修会をもち、出てきた反省を踏まえて次年度に向けて、講座企画の参考にします。これは2日間かけて振り返りの時間をもち、お互いに自分の担当している講座の報告を行い、よかった点や問題点を共有して公民館職員としての資質能力の向上を目指すものです。

詳細はあとの記事をご覧になってもらえばわかりますが、福井学基礎講座最終講座では、啓蒙公民館の佐々木昭博館長に、啓蒙キッズによる劇の紹介をしていただきました。お出かけ福井学では、東郷公民館の藤井哲哉館長に、東郷地区の案内をしていただきました。

このように地区公民館と中央公民館との連携による講座や取組を、これからも一層推進していくと考えています。地区公民館の皆様には、いろいろな面や立場で大変お世話になっています。今年もあとわずかですが、来年もよろしくお願ひいたします。



市民公開講座 第2回 11/29（土）に実施しました



今回は、『チラムネ』と福井 物語の力が広げる魅力をテーマに、『千歳くんはラムネ瓶のなか』の作家裕夢氏（福井市出身）をお迎えし、ナビゲーターをタレントの大川はるな氏にお願いしてのトークセッションでした。



10月よりテレビでアニメ放送が開始された影響か多くの参加者が来られました。参加された方の年代は10代から70代と幅広い年代にわたり多くの方に支持をされていることが改めてわかりました。トークセッションの中で裕夢氏は東京に暮らし始めて福井のあたりまえや、面倒だと思っていたことが福井では自然と目に入ってくるなど気づき、改めて福井という場所の良さを感じることができたと。そんなことを題材として取り上げてくださっていると実感しました。

90分という短い時間でしたが、あっという間に時間は過ぎかり惜しむ声が聞こえてきました。また、みどり図書館・桜木図書館より多くの関連グッズや書籍をお借りし感謝しております。テレビアニメは12月2日より再開されていますので是非見てくださいね。



福井学基礎講座 地区館との交流事業

11/22(土) 実践発表：啓蒙公民館 「結城秀康を題材とした劇の実践について」

結城秀康と啓蒙地区のつながりから茨城県結城市との交流まで地域一丸となり交流事業をしていることが伝わったお話をしました。

当日は衣装を着て登場した佐々木館長と語り部の高村さん。この衣装は地区民からの寄付やお手伝いなどがありすべて手作り。今では10体も衣装ができているそうです。芝原用水を機に啓蒙地区の「きずな」「つながり」がとても深く強いことが伝わってきました。



11/1(土) おでかけ福井学：東郷公民館 「改修で新しくなった公民館と東郷の町並み見学」



越美北線を利用し、東郷公民館へ。雲行きが怪しい天候の中を出発し無事に到着しましたが、町並み見学開始早々に雨がポツポツ・・・その雨は勢いを増し、土砂降りとなり、途中で切り上げ東郷公民館へ。到着する頃に雨は上がりました。

到着後、当日開催していた「肉と米と音楽と」の東郷ふるさとおこし協議会主催のイベントを見学し、その後、藤井館長より東郷の歴史、まちづくりなどについてお話をいただきました。

参加者の皆さんからは、「雨さえ降らなければ」との声がたくさん。越美北線を利用し、土砂降りの中出かけたこの日は、いい意味で良い思い出となりました。



環境講座 「暮らしに活かすもったいない」交流会 11/20(木)

最終回は交流会でしめくくりました。11名の受講者が暮らしの中で実践している「もったいない」をシェアし、和気あいあいの雰囲気で盛り上りました。実践のヒントや普段感じている疑問をご紹介します

- ・ゴミの分別をしているがこれほんとにリサイクルされてるのかな? そこのところが知りたい。
- ・昔の洋服は体形が変わっても縫い代を多めにとっていたから直しがきいたんだよ。
- ・着物とスーツはリサイクルが難しいことが分かった。特に刺繡の名前はほどくのは難しい。
- ・市内のリサイクルのお店の紹介や寄付につながる回収の紹介 等



交流会を講座に組み込むことで一層つながりが深まるを感じました。「つどう・まなぶ・むすぶ」の醍醐味を感じました。

